

青森県南地方を中心に住宅の新築やリフォームを手掛ける「タナカホーム」(八戸市)。太陽光発電や高い断熱性能を意識した住宅の需要の高まりを背景に、次世代の省エネ住宅建設にも力を入れている。代表取締役社長の金田一光徳さん(40)に経営理念などを聞いた。

(聞き手・田中周菜)

青森・岩手 トップ語る

「会社経営に当たり大切にしていることは。社員同士の「和」や「家づくりは幸せづくり」という基本方針を大切にしながらも、失敗を恐れず、常に新たなことに挑戦し続けたい。住宅は一生に1度の大きな買い物。建設の前後で、お客さまとの信頼関係を構築することを重視



タナカホーム (八戸市)
金田一光徳さん

きんだいち・みつのり 八戸市出身。2001年入社。建設現場の監督、設計・積算、現場統括を担当。工務部長、常務取締役を経て、17年8月、3代目社長の田中米一現代表取締役会長の後任で現職に就任。

◇会社概要 1973年創業。八戸、三戸エリアを中心に住宅建築、不動産事業を手掛ける。2016年、総合的に省エネルギ賞を受賞。本社は八戸市根城8の14の9。

「性能に優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」特別優秀賞を受賞。本社は八戸市根城8の14の9。

時代に合った商品提供

挑戦

私の経営哲学・理念

「会社経営に当たり大切にしていることは。社員同士の「和」や「家づくりは幸せづくり」という基本方針を大切にしながらも、失敗を恐れず、常に新たなことに挑戦し続けたい。住宅は一生に1度の大きな買い物。建設の前後で、お客さまとの信頼関係を構築することを重視

「性能に優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」特別優秀賞を受賞。本社は八戸市根城8の14の9。

「性能に優れた住宅を表彰する「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」特別優秀賞を受賞。本社は八戸市根城8の14の9。